

保護者の皆さまへ

臨時休校や分散登校という前代未聞の事態が続き、1学期に予定していた家庭訪問や参観日、一堂に会する会議等も中止になり、令和2年度が2か月以上経過しましたが、本日から感染症対策を講じながら通常授業が再開しました。今朝早速、生徒会執行部があいさつ運動を再開したり、たくさんの生徒の笑顔や活気にあふれた様子を見たりして、たいへんうれしく思うと同時に、心配も感じているのが本音です。校内のさまざまな場面で、3密回避、消毒、人との距離、また熱中症にも気をつけながら学校生活を再開していきます。ご家庭におかれましても、健康・衛生面および生活習慣の確立などについて、引き続きよろしく願いいたします。また、生徒が自分の健康管理を行う習慣をつけていくため、自分や大切な人の命を守る観点からも、登校前の健康観察及び検温を始めます。近日中に「健康観察記録表」を配布しますので、御協力をお願いいたします。

行事や各学年の宿泊行事等につきましても具体的に進めてまいります。学校独自で決定できることもあれば、独自の判断ではできないこともあり、まだまだ先行き不透明なことが山積しているのが現状です。しかし、生徒にとっては一生に一回の中学校生活、特に3年生にとっては中学校最後の行事です。学校として、十分な状況判断と情報収集を行いながら安全で楽しい思い出になるよう教職員一同、前向きに考えていきたいと思っています。また、行事等に関するタイムリーな情報発信や保護者の皆さまの意向を確認する際に eこねつとを今後も活用していきますので、ぜひ100%の加入をお願いいたします。

学校評議員会から学校運営協議会へ移行

今年度、本校では「学校運営協議会」を設置しました。昨年度までは、地域の方々の声を学校運営に

反映させ地域に開かれた学校を推進するために、学校評議員として9名の方が行事等に参加し、よりよい学校づくりのための意見交換をはじめ、さまざまな面で学校を支援してくださっていました。今年度からは、地域の学校園と地域がひとつの運営協議会として「郷内の子は郷内で育てる」という理念のもと、地域の特色を生かしながら、地域と連携して子どもたちの成長にかかわっていくことを目的とし、学校運営協議会に移行しました。

制服に関するアンケートについて

県内をはじめ全国の教育現場で、防寒・防犯など「安全・安心」の観点や多様な個性をもった子どもたちへの

きめ細かな対応が求められている社会的背景を踏まえ、倉敷市教育委員会も中学校の女子生徒を対象にスラックスかスカートかを自由に選べる制服選択制の導入を推進していく方針が、令和元年9月に新聞で報道されました。本校でも以前から少しずつ、防寒・防犯の観点からスラックス導入の声があがりはじめていたこともあり、この度、制服を見直すことを検討していくことにいたしました。6月中旬に「制服についてのアンケート」を計画していますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

多目的トイレ完成

保健室の東側に、多目的トイレが完成しました。

4つのピクトグラムがユニバーサルデザインで表示されています。裏面に写真を載せています。保護者の皆さまも、ぜひご利用ください。

(裏面に続く )



「心と体のアンケート」結果から

学校再開にあたり、生徒の心と体の変化を早期に発見するために、倉敷市教育委員会が、市内すべての小学生、中学生を対象に下の5つの項目で『心と体のアンケート』を実施しました。

- ①眠れない ②ごはんがほしくない ③イライラする
- ④心配なことをずっと考えてしまう ⑤学校生活が楽しい



アンケート結果から、本校では次のようなことがわかりました。

- ①「学校生活が楽しい」という項目で肯定的回答の割合は、学年によって差がありますが、どの学年も高く、80～97%でした。また①～⑤までの項目で1年生と2年生の肯定的回答率が一番高かったのも「学校生活が楽しい」という項目でした。
- ②3年生で肯定的回答の割合が一番高かったのは、「ごはん」の項目で、約90%の生徒が、ごはんをおいしく食べていることがわかりました。
- ③「イライラする」という項目では、「ある」「ときどきある」に該当する生徒の割合が、1年生、2年生でそれぞれ約35%、3年生は約25%でした。3年生は1、2年生以上に勉強や部活動などで悩みが多いのではないかと予想していましたが、さすが3年生、上手に気分転換ができているのだと思います。
- ④3学年とも「心配なことを、ずっとかんがえてしまう」という項目の「ある」「ときどきある」の回答率は、「イライラする」の項目の「ある」「ときどきある」の割合とほぼ同じでした。心配事が解消されれば、イライラもなくなるかもしれませんね。

新しい生活様式を取り入れて

今年度は体育の授業で水泳が禁止になりました。また、当分の間、狭い空間で歌を歌うことや楽器を吹くこと、真正面で向き合っていくグループ学習などができなくなっていますので、授業では「書くこと」や「聞くこと」「考えること」などが中心になります。

今日の給食時間も、すべてのクラスで前を向いて座り、食べ終わっても会話をすることもなく落ち着いて流れる音楽を聴いていました。



体育の先生たちは、マスクを着けた上から透明下敷きで作ったフェイスシールドで顔全体を覆っています。(暑くなるので、熱中症が心配ですが・・・)

